

学習支援 ボランティア参加を

瀬戸市のNPO法人「チムレスキュー」と金城学



子ども食堂での食事を楽しむ参加者＝尾張旭市渋川町のレイカフェで

尾張旭で実施 瀬戸のNPOなど募る

院大（名古屋市守山区）は、尾張旭市渋川町の飲食店「レイカフェ」で昨年から開いている学習支援と子ども食堂のボランティアを募集している。

月曜と木曜の週二回、小学生から高校生を対象に無料で学習支援している。そのうち月に二回ほど、子ども食堂を開いている。児童や生徒約四十人の登録があり、常時十五人ほどが来店するという。

本年度は国などが進める

無料の学習支援事業「地域未来塾」にも採択された。公的施設以外が開催場所になるのは珍しいという。

同大生活環境学部の古寺浩教授は「塾などで教えた経験がなくてもいい。コミニケーションをしっかりと取ってくれる人など、子どもたちをサポートしたいという人集まってほしい」と話した。

学習支援の時間は小学生が午後五～七時。中学生は午後五～九時。募集は随時、人数は未定。☎レイカフェ＝lei.cafe2017@gmail.com（菅谷仁志）

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。
2018年5月1日 中日新聞社より